

府中市スポーツ推進計画
協議会意見の対応

協議会	意見	意見の要約	対応	反映箇所	施策 (基本目標)	ページ
1 第3回協議会	コロナ禍で、スポーツをしていた方はやりにくくなつたという意見があつて、逆にやつていなかつたが運動不足を感じて意識的にスポーツをやってみようと思ったという方が結構いらっしゃるのだと感じます。	コロナ禍のスポーツの意識の変化に対応できるとよい。	基本目標4（4）で施策を検討したい。	第3章	基本目標4	
2 第3回協議会	子どもたちの意識の中には、小学生も中学生も半分以上の方が、おうちの方ともっと多くやりたいとあり、この辺が1つの鍵になるのではないかと思います。	子どもの親子スポーツのニーズに対応できるとよい。	基本目標4（1）で施策を検討したい。	第3章	基本目標4	
3 第3回協議会	○市民の方に運動・スポーツ関わっていただく、そういう機会は既にあつて、いかに情報を提供していくか、広報に関わってくると思います。 ○単なるお知らせではなくて、どんどん突っ込んでいくというか、もっと市民が足を向け易くする感じになってほしいと思います。	行動変容につながる情報発信が重要ではないか。	基本目標4（4）で施策を検討したい。	第3章	基本目標4	
4 第3回協議会	スポーツタウン府中について、コンセプトがなかなか市民のほうに届いていない	基本理念を広く市民に周知していくべきである。	広く市民に伝わる計画とする。	第3章		
5 第3回協議会	「ささえる」スポーツのところの仕掛けを何か作つていかないといけないのかなという印象です。	ささえるスポーツを推進していくべきである。	基本目標2で施策を検討したい。	第2章	基本目標2	
6 第3回協議会	障害者スポーツに関わるということイメージにハードルが高いのではないか、そのためそれを和らげるような施策が必要ではないか	障害者スポーツを推進していくべきである。	基本目標2（2）で施策を検討したい。	第2章	基本目標2	
7 第3回協議会	○市内でトップチームの試合を見る環境というのが整っていない。 ○府中市で試合を見るというのが難しくても、何かそこにつながるようなイベント等があると、人々を会場のほうに誘致できるような方法もあるのかかもしれません。	トップチームにふれる環境を一層充実していけるとよい。	基本目標4（3）で施策を検討したい。	第3章	基本目標4	

府中市スポーツ推進計画

協議会意見の対応

協議会	意見	意見の要約	対応	反映箇所	施策 (基本目標)	ページ
8 第3回協議会	○スポーツチームや施設が豊富にあるのですが、横のつながりを強化していく必要があるのではないか。 ○イベントを市と企業とスポーツ団体とが組んで実施することができれば、市のスポーツと関わる大人の方も、増えていくのではないか。	スポーツ関係者の横のつながりを強化することが重要ではないか。	新たな会議体の立ち上げを検討している。	計画全体		
9 第3回協議会	S D G s を意識した書き方をしたほうがいい	S D G s を意識した書き方をしたほうがいい	第1章でふれるとともに、総合計画とも整合をはかり、記載方法を検討する。	計画全体		1
10 第3回協議会	「協働」というキーワードを何か少し臭わせるような施策があると、総合計画と府中市独自のスポーツ推進計画で、整合性が非常によくなるのではないか。	「協働」というキーワードが入った施策があるとよい。	施策全体にかかることだと考える。4つの基本目標のリード文の中で用語を使用する。	第3章		18
11 第3回協議会	1つの基本施策の中に、『未来につながるスポーツ文化の形成』というフレーズが入ったらしい	1つの基本施策の中に、『未来につながるスポーツ文化の形成』というフレーズが入るとよい。	基本目標4で表現したい。	第3章	基本目標4	

府中市スポーツ推進計画

協議会意見の対応

協議会	意見	意見の要約	対応	反映箇所	施策 (基本目標)	ページ
12 第4回協議会	例えばトップチームと福祉協議会の方々が一緒になって何かやるとかですね、そういうコラボレーションができるような雰囲気を作る必要があるかもしれません	【No.8と同じ】 スポーツ関係者の横のつながりを強化することが重要ではないか。	新たな会議体の立ち上げを検討している。	計画全体		
13 第4回協議会	いわゆる無関心層とかそこまでアンテナを張っていない方々へのアプローチというところは加速できるところで、その辺の工夫が必要	無関心層へのアプローチを工夫できるとよい	基本目標4（4）で施策を検討したい。	第3章	基本目標4	
14 第4回協議会	民間活力の導入について、特にハードのときには、やっぱり一般企業が対象になると思うんですけど、ソフトになってくると、いろいろな法人とかNPOとか、そういう組織との関わりも必要になってくるのではないか	民間活力の導入について、ハード・ソフト両面で検討できるとよい	・基本目標3（1）で施策を検討したい。 ・基本目標2（3）で施策を検討したい ・基本目標4（1）で施策を検討したい →民間の力で連携を促進していく等（要事務局検討）	第3章	基本目標3	
15 第4回協議会	浅間町の米軍跡地の開発のところを、今回の推進計画で視野に入れているか。 どういうふうにスポーツ施設、運動施設を作るかということとリンクするような気がします。ですので、その辺をうまく全体的な計画との整合性も含めて作っていったらいいかなと考えます。	新たなスポーツ施設の整備に関して、庁内の他の計画との整合を図っていくよ	・基本目標3（1）で施策を検討したい。	第3章	基本目標3	
16 第4回協議会	健康ポイント制度を取り入れている行政とかも多く見受けられるのですけれども、例えばそういうことは市としては、検討の中に入るのでしょうか。	健康ポイント制度の導入は検討するのか。	制度の有効性も含めて今後議論いただきたい。	第3章	基本目標4	
17 第4回協議会	部活動を地域に移す議論がある。ここ数年で学校のそういう部活動の在り方というのが大きく変わってくると思うので、ぜひその辺については連携を取っていただきながら進めていただけないとよい。	学校部活動の在り方の変化にどのように対応していくか考えておけるとい	・基本目標3（3）で施策を検討したい。	第3章	基本目標3	

府中市スポーツ推進計画

協議会意見の対応

協議会	意見	意見の要約	対応	反映箇所	施策 (基本目標)	ページ
18 第4回協議会	地域の最小単位としての家族というのもキーワードに入れておかないといけません。お父さん、お母さん、お子さん、あるいは中学校・小学校が一緒に誘導できるような施策といいますか、そういう仕組みみたいなものを取組も入れておかないと、やっぱり小中学生の時期のスポーツへの取り組み意識がその後の興味関心の度合いを変えてしまう。	地域の最小単位として家族があることを念頭においておけるとよい。	・基本目標2（1）で施策を検討したい。	第3章	基本目標2	
19 第4回協議会	スポーツ振興課としては、学校以外の活動の場、または小学生、中学生であっても学校の運動部活になじまない、またはある意味アーバンスポーツ系の子どもや、または運動・スポーツが苦手で学校の運動部ではやっていけない、そういう子たちが対象になるというのが1つの視点になるかと思います。 その際に地域との連携は重要になる。	年齢や得意不得意等に問わらず、子どもがスポーツに親しむことができるよう、地域の体制を整えておくことが重要である。	・基本目標1（2）で施策を検討したい。	第3章	基本目標1	
20 第4回協議会	東京オリンピック・パラリンピックでレガシーということを言われていますので、やっぱり1つは障害者のスポーツというのをどういうふうに地域の中に開いていくか、展開していくかということがある	障害者スポーツを推進していくべきである。	基本目標2（2）で施策を検討したい。	第3章	基本目標2	
21 第4回協議会	市とトップチームと地域クラブとの連携をもっと深めていけば、今後スポーツを始めるという方にとっては、いいきっかけづくりができるしていくのではないか	トップチームと地域クラブとの連携をもっと深めていけば、スポーツに関心をもつききっかけを充実していく。	基本目標4（3）（4）で施策を検討したい。	第3章	基本目標4	
22 第4回協議会	情報をタイムリーに発信していくことが重要。年代別にちゃんと伝わる情報発信ということを積極的にやっていく。	必要な人に必要な情報が届く発信の仕方が重要ではないか。	基本目標4（4）で施策を検討したい。	第3章	基本目標4	

協議会意見の対応

協議会	意見	意見の要約	対応	反映箇所	施策 (基本目標)	ページ
23 第5回協議会	「スポーツタウン府中の発展」というのは非常に重要な大目標になるのですが、具体的なイメージがなかなか分かりづらいと思います。 16ページの「『スポーツタウン府中の発展』につなげていくものとします」という文言の後ろに、「具体的には府中市民がそれぞれの立場でスポーツと関わり、府中市民としての誇りを持てるまちをイメージします」という一文を入れたほうが、スポーツタウン府中のイメージが湧くのではないかと思います。	「スポーツタウン府中」のイメージが湧く計画にしてほしい。	基本理念のリード文を追記する	第3章		
24 第5回協議会	市民協働都市宣言の一文の中に、それぞれの役割があるのだということで、できることから主役となって、市民がまちづくりに参加するのだという一文があるので、これは非常に重要なことかなと思います。	「市民がまちづくりに参加する」視点を大切にしたい。	基本理念のリード文に記述を検討する	第3章		
25 第5回協議会	市内のいろいろな団体とか組織であるとか、そういう関係者がコミュニケーションを取って、課題とか取組、情報とかを共有する、ここでは「座組」と書いてあるものがあるといいのではないかと思います。 それが結局地域のそれぞれの市民も関わる、育っていくことになるというイメージがしていたのですが、こういう枠組みについては資料3には特に反映されていないように思います。	市内スポーツ関係団体等の課題、取組、情報の共有が重要ではないか。	トップチームの市内関係団体等の横の連携を強化するよう、市として取り組んでいく	第4章		
26 第5回協議会	「スポーツ推進会議」の中で、トップチームも連携して協働・連携体制を構築するものと思っていたのですが、ここにはトップチームは含まれないということで理解してよろしいですか。	「スポーツ推進会議」にトップチームは含まれるのか。	別の組織を考えている。			
27 第5回協議会	これだけトップチームが今現在、取りあえず本拠地にしているというのはなかなかない条件だと思います。そんなに簡単にトップチームが来てくれるわけではないと思います。ですので、この状況をいかに活かしていくか、施設等々で限界があるのであれば、それ以外のアプローチをしていくビジョンを持って取り組んでいく必要があると思います。	トップチームとどのように連携・協働していくかを考える必要があるのではないか。		第4章		

府中市スポーツ推進計画

協議会意見の対応

協議会	意見	意見の要約	対応	反映箇所	施策 (基本目標)	ページ
28 第5回協議会	トップチームとの連携は見るだけではなくて、一緒に体験できることも、スポーツをやったことない子どもたちの一歩にもなるし、一方では、ニュースポーツをやられている方たちとの一歩のつながりとしても、学校と地域クラブとの連携をもう少し取れたら、きっかけづくりができるのではないかと感じingおりました。	トップチーム、学校、地域クラブとの連携を強化し、子どもやニュースポーツの関心層にアプローチしていくとよい。		第4章	基本目標4	
29 第5回協議会	「日常生活にスポーツを取り入れ、元気に健康に暮らしている」、という言葉は、市民1人1人がスポーツというものをどの程度、どの範囲内で捉えているのかということがとても気になりました。 スポーツというのは、競技スポーツみたいなものをイメージしてしまうのではないかと思っていたのですが、「元気に健康に暮らしている」というところを考えいくと、シニアクラブ、町会のようなコミュニティではスポーツをやれるのですけれども、そういうところに所属していない人は、どんなふうにしていくのかと思いました。	競技スポーツ以外もスポーツとして取り組む人を増やせるとよい。	「スポーツとは」を整理するとともに、市民の理解を広めていきたい。	第3章		
30 第5回協議会	きっかけづくりの話とかはしていたのですけれども、府中市で推進委員さんの事業とか、あとは体育館での体操教室などの事業もたくさんやられているのですが、その中で体育館やいろいろなイベントが1回で終わってしまうイベントがたくさんあると思うのです。 計画する上で、参加してくださった方たちがその後どうやってスポーツに取り組んでいくのか、運動を取り組んでいくのかまでしっかりと計画を立ててやっていけば、今後の継続性につながっていくのではないかと思います	スポーツを始めた人が継続していくための工夫ができるとよい。	各施策で検討していきたい。	第4章		

府中市スポーツ推進計画

協議会意見の対応

協議会	意見	意見の要約	対応	反映箇所	施策 (基本目標)	ページ
31 第5回協議会	参加した方たちに今後家でやってくださいねというところで終わってしまうのではなくて、地域のクラブやトップチームを見に行けることや、参加してみるというような声掛けを、子どもたちに対してはあまり継続してできるところがないので、できればイベントをしたときに、次につながる告知をしていくというのも大切と感じております。	スポーツを始めた人が継続していくための工夫ができるとよい。	継続につながる情報発信を工夫していきたい。	第4章		
32 第5回協議会	先ほどのスポーツの生活化についてなのですが、スポーツというイメージでないもの、例えば縄跳びやけん玉、そのような遊びのようなものもスポーツとして考えていくと、もう少し人数が増えていくと思います。	競技スポーツ以外もスポーツとして取り組む人を増やせるとよい。	「スポーツとは」を整理するとともに、市民の理解を広めていきたい。	第3章		
33 第5回協議会	スポーツのイメージづくりやメッセージを計画の中に行政から発信していければと思います。	競技スポーツ以外もスポーツとして取り組む人を増やせるとよい。	「スポーツとは」を整理するとともに、市民の理解を広めていきたい。	第3章		
34						
35						
36						
37						